


専門研修「保育・子育て（第1回）」

【日時】	令和2年8月19日(水)、20日(木) 9:00~17:00
【会場】	1日目 CIVI研修センター日本橋 2日目 CIVI研修センター秋葉原
【受講者数】	109名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本女子大学 家政学部 児童学科 特任教授 西 智子 氏</li> <li>・東京家政大学 子ども学部 子ども支援学科 教授 加藤 繁美 氏</li> <li>・聖徳大学 短期大学部 保育科 教授 岡田 耕一 氏</li> <li>・東京子ども専門学校 専任講師 宍戸 千雅 氏</li> </ul>
【研修内容】	<p>&lt;目的&gt; 保育・子育て支援に関する専門知識を習得し、職務遂行能力の向上を図る。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子育て支援と保育者の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援の意義</li> <li>・ 子育て支援者としての保育者の役割</li> <li>・ 保護者に対する理解と支援のポイント</li> </ul> </li> <li>② 保育記録の書き方と活かし方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育記録の重要性</li> <li>・ より良い実践に活かす記録</li> </ul> </li> <li>③ 子どもの発達過程の理解と保育者のかかわり方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの年齢に応じた心と身体の発達と保育者としてのかかわり方</li> <li>・ 子どもの心に寄り添う保育</li> </ul> </li> <li>④ あそびを通した子どもの育ちの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手遊びうた、歌などの実技のポイントと保育への活かし方</li> <li>・ 子どもの成長におけるあそびの重要性</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>&lt;講義の様子&gt;</p> </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援、保護者対応について、今まさに悩んでいた内容だったので、すぐに保育に役立てていきたいと思いました。保護者の声に耳を傾け、受け止められるようなかかわりを心掛けていきたいです。</li> <li>・ 事例が多く、普段の仕事と重ねながら楽しく受講することができました。子どもの言葉やしぐさ、表情を書き留めることをすぐに実践していきたいです。また、行動に対して「しか」「だけ」と考えるのではなく、「を」「なら」に言い換えて良い面をたくさん見つけるようにしていきたいです。</li> <li>・ 自分自身の関わり方を見直すことができました。例がたくさんあったことで分かりやすく、また自分にはこのような声掛けができていたのかと考えるきっかけにもなりました。応答的なかかわりを大切にしていきたいです。</li> <li>・ 自分がその場にいたら止めてしまうような遊びでも、一つひとつに子どもたちなりの意味があることが分かりました。自分自身、「子どもと遊ばなきゃ」と思ってしまう性格なので、一人遊びの大切さに気付けたことはよかったです。また、現場で使えるような手遊びも教えてもらえてよかったです。</li> </ul>